

政策体系	政策No.	4	政策名	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)	施策幹事課	スポーツ・文化振興課			
	施策No.	3	施策名	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進	施策幹事課長名	久木田 勇			
施策関係課名		市民活動推進課、社会教育課							
1 基本計画期間(2018年度～2022年度)における施策の方針									
優れた芸術文化に触れることができるよう、多様なジャンルの芸術文化を楽しむことのできる機会を提供するとともに、積極的な情報発信に努めます。 また、市民の主体的な芸術文化活動の促進と活動の裾野の拡大を図るため、団体の育成・支援を行うとともに、団体間の相互交流を推進します。さらに、子どもたちの芸術文化に対する興味・関心の高揚や豊かな心の醸成を図るため、芸術文化に親しむ機会を積極的に提供します。									
2 施策の成果把握									
①成果指標（意図の達成度を表す指標）		◎目標達成(100%以上) △目標を未達成(100%未満)					目標達成の方向性		
		単位	区分	2018年度	2019年度	2020年度		2021年度	2022年度
A	芸術文化に親しんでいる市民の割合	%	成り行き値	53.4	53.3	53.2	53.1	53.0	更なる増加を目指します
			目標値	53.6	53.8	54.0	54.2	54.3	
			実績値					49.6	
			達成率					91%	
			結果					△	
B	芸術文化に触れ親しむ環境が整っていると感じる市民の割合	%	成り行き値	30.4	30.3	30.2	30.1	30.0	更なる増加を目指します
			目標値	30.6	30.8	31.0	31.2	31.4	
			実績値					32.9	
			達成率					105%	
			結果					◎	
C	芸術文化事業の実践者及び鑑賞者の人数	人	成り行き値	100,800	100,600	100,400	100,200	100,000	更なる増加を目指します
			目標値	106,000	109,000	112,000	115,000	118,000	
			実績値	94,565	88,267	42,399	49,692		
			達成率	89%	81%	38%	43%		
			結果	△	△	△	△		
D	芸術文化団体に所属している人数	人	成り行き値	2,950	2,930	2,910	2,890	2,870	更なる増加を目指します
			目標値	3,200	3,300	3,400	3,500	3,600	
			実績値	2,457	2,423	2,540	2,346		
			達成率	77%	73%	75%	67%		
			結果	△	△	△	△		
E	霧島市民会館来館者数	人	成り行き値	65,244	65,904	66,564	67,224	67,884	更なる増加を目指します
			目標値	66,500	67,800	69,100	70,500	71,900	
			実績値	61,300	53,690	21,898	32,876		
			達成率	92%	79%	32%	47%		
			結果	△	△	△	△		
② 成果指標の測定方法（実際にどのように実績を把握するか）			③ 2022年度の目標値設定の考え方						
A 芸術文化に親しんでいる市民の割合 ※市民意識調査			A 芸術文化団体等と連携し、身近な場所で芸術文化を鑑賞・体験できる機会を提供することや積極的な情報発信により、2017(平成29)年度の現状値53.4%から2022(令和4)年度54.3%を目指す。						
B 芸術文化に触れ親しむ環境が整っていると感じる市民の割合 ※市民意識調査			B 関係機関と連携し、市民ニーズを踏まえた音楽・演劇等のイベントの開催や優れた芸術に触れる機会の創出等により、2016(平成28)年度の現状値30.4%から2022(令和4)年度31.4%を目指す。						
C 芸術文化事業の実践者及び鑑賞者の人数 ※芸術文化団体(文化協会、少年少女合唱団、神楽振興会等)での活動延人数及び霧島国際音楽祭、美術展、写真展等の鑑賞者数			C 芸術文化団体等の活動が積極的に行われるよう必要な支援を行うと共に、芸術文化団体等と連携し、発表内容の充実を図ることや積極的なPRに努めることで、現状値101,831人から2022(令和4)年度118,000人を目指す。						
D 芸術文化団体に所属している人数 ※文化協会等に所属している会員数			D 芸術文化団体等と連携し、市民に興味を持ってもらう取り組みとして、具体的な活動の情報発信やPR活動等による加入促進に努め、2016(平成28)年度現状値2,992人から2022(令和4)年度3,600人を目指す。						
E 霧島市民会館来館者数 ※芸術鑑賞等により市民会館を利用した人数			E 指定管理者と連携し、自主文化事業のあり方や公演メニュー等、多様化するニーズの変化に対応した取り組みを行い、2016(平成28)年度の現状値63,924人から2022(令和4)年度71,900人を目指す。						
F			F						

3 基本計画期間で解決すべき施策の課題(総合計画より)

本市では、国内でも屈指の音楽祭である「霧島国際音楽祭」や世界を舞台とする「劇団四季」の公演など優れた芸術文化のイベントが開催されるとともに、市民参加型のミュージカル等の新たな文化の創造や食文化等の継承による次世代育成が行われています。

芸術文化は、鑑賞、体験のみならず日々の生活の中に存在するものであり、市民がそれぞれの感性で楽しむことができるよう、身近に触れ親しむ機会を創出し、芸術文化への意識の底上げを図っていく必要があります。

なお、市の芸術文化活動の中心組織の一つである霧島市文化協会は、各地域において、文化祭をはじめとした活動を展開していますが、少子高齢化の進行により会員数が減少するなど、後継者の育成が大きな課題となっています。

一方、市内には、組織としての形態をとらずに芸術文化活動を行っている個人や団体も多数存在することから、今後、その把握に努め、相互交流・連携を推進し、芸術文化を支える人材の育成を図りながら、まちづくりへの活用等にも積極的に取り組む必要があります。

また、本市の芸術文化活動の拠点として最も重要な施設である霧島市民会館は、建築後50年を超えており、建物本体・設備等で改修や更新の時期を迎えているものもあることから、今後のあり方について検討する必要があります。

4 施策の現状

①2021年度施策の取組方針	②2021年度の取組方針の達成状況
<ul style="list-style-type: none">■子どもたちの芸術文化に対する興味や関心を高めるために、小・中学生を対象とした児童生徒芸術鑑賞会等を行う。■市民会館の指定管理者が実施する自主文化事業等を通じて、市民が芸術文化に触れる機会の創出に努める。■芸術文化団体等の活動に対して必要な支援を行う。■10月に開催される地域伝統芸能全国大会に向け、必要な準備及び運営を行う。■市民会館のあり方を検討した結果に基づき、予算要求等、必要な対応を行う。	<ul style="list-style-type: none">■小・中学生を対象に青少年劇場(9校)や生徒芸術鑑賞会(3校)、文化庁巡回公演(2校)、青少年のための芸術鑑賞事業(1校)を実施し、延べ3,686人が鑑賞できた。■市民会館の自主文化事業を7プログラム実施し、2,681人が鑑賞や体験を行った。■芸術文化に取り組む団体に対し運営補助を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた活動が中止や内容変更等を余儀なくされた。■地域伝統芸能全国大会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

5 2022年度施策の取組方針

<ul style="list-style-type: none">■子どもたちの芸術文化に対する興味や関心を高めるために、小・中学生を対象とした児童生徒芸術鑑賞会等を行う。■市民会館の指定管理者が実施する自主文化事業等を通じて、市民が芸術文化に触れる機会の創出に努める。■芸術文化団体等の活動に対して必要な支援を行う。■市民会館のあり方を検討した結果に基づき、予算要求等、必要な対応を行う。	
---	--

政策体系	政策No.	4	基本事業名	芸術文化に触れ親しむ機会の充実	基本事業 主担当課	スポーツ・文化振興 課
	施策No.	3				
	基本事業No.	1				

1 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

子どもの頃から身近な場所で良質な芸術・文化を鑑賞し、体験できる機会を提供するとともに、これまでの広報活動に加え、各種メディアなどを活用した積極的な情報発信に努めます。
また、関係機関と連携し、市民ニーズ等を踏まえた音楽・演劇などの芸術文化を享受できるイベントや、市民が優れた芸術に触れる機会の創出に努めます。

2 基本事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?

- 国内でも屈指の音楽祭である「霧島国際音楽祭」が、2020(令和元)年に1980(昭和55)年の初開催から40周年の節目を迎えた。
- 2021(令和3)年に地域伝統芸能全国大会が鹿児島県で開催される。
- コロナ禍において従来の参加型のイベントではなく、ウェブ等を活用した公演など、芸術文化の普及、啓発のあり方が多様化している。

3 2021年度基本事業の取組方針

- 子どもたちの芸術文化に対する興味や関心を高めるために、小・中学生を対象とした児童生徒芸術鑑賞会等を行う。
- 市民ニーズに対応した芸術文化に触れる機会を創るため、市民会館の指定管理者と連携して自主文化事業等を実施するとともに、参加者を増やすためにケーブルテレビやコミュニティエフエム等、各種メディアなどを活用して情報発信に努める。
- 市民会館のあり方を検討した結果に基づき、予算要求等、必要な対応を行う。
- 10月に開催される地域伝統芸能全国大会に向け、必要な準備及び運営を行う。

4 2021年度の取組達成状況

- 小・中学生を対象に青少年劇場(9校)や生徒芸術鑑賞会(3校)、文化庁巡回公演(2校)、青少年のための芸術鑑賞事業(1校)を実施し、延べ3,686人が鑑賞できた。
- 市民会館の自主文化事業を7プログラム実施し、2,681人が鑑賞や体験を行った。
- 市民会館の舞台音響・照明ほか改修業務を公募型プロポーザル方式で決定し、同業務を執行した
- 地域伝統芸能全国大会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

5 2022年度基本事業の取組方針

- 子どもたちの芸術文化に対する興味や関心を高めるために、小・中学生を対象とした児童生徒芸術鑑賞会等を行う。
- 市民ニーズに対応した芸術文化に触れる機会を創るため、市民会館の指定管理者と連携して自主文化事業等を実施するとともに、参加者を増やすためにケーブルテレビやFMきりしま等、各種メディアなどを活用して情報発信に努める。
- 市民会館のあり方を検討した結果に基づき、予算要求等、必要な対応を行う。

政策体系	政策No.	4	基本事業名	芸術文化活動を実践する市民及び団体への支援	基本事業 主担当課	スポーツ・文化振興 課
	施策No.	3				
	基本事業No.	2				

1 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

市民の自主的な芸術・文化活動により、多くの市民が芸術文化に親しめる機会が増えるよう、市民活動の支援に取り組みます。
また、市文化協会や関係団体など、積極的に活動する芸術文化団体への支援や団体相互の交流の推進により、活動の活性化を図るとともに、芸術文化を支える人材の育成に努めます。

2 基本事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?

- 霧島市文化協会は、少子高齢化により団体数、会員数ともに減少傾向にある。
- 市内には、新たな芸術文化活動を行っている団体は存在するものの、把握は難しい状況である。

3 2021年度基本事業の取組方針

- 多くの市民が芸術文化に親しめる機会を増やすため、芸術文化に取り組む団体等の活動支援を継続する。
- 市内における芸術文化活動をさらに活性化させるために、芸術文化活動に取り組んでいる市内の団体やグループ等の把握に努め、団体相互の交流を推進する。

4 2021年度の取組達成状況

- 芸術文化に取り組む団体に対し運営補助を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた活動が中止や内容変更等を余儀なくされた。
- 新型コロナウイルス感染症による活動自粛やイベントの中止等のため、活動団体の把握や相互交流を図る事業を推進することができなかった。

5 2022年度基本事業の取組方針

- 多くの市民が芸術文化に親しめる機会を増やすため、芸術文化に取り組む団体等の活動支援を継続する。
- 市内における芸術文化活動をさらに活性化させるために、芸術文化活動に取り組んでいる市内の団体やグループ等の把握に努め、団体相互の交流を推進する。

第二次霧島市総合計画(前期基本計画)総括シート

政策体系	政策No.	4	政策名	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)	施策幹事課					
	施策No.	3	施策名	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進	スポーツ・文化振興課					
計画期間(2018年度～2022年度)における施策の方針 (総合計画書から引用)					関係課					
優れた芸術文化に触れることができるよう、多様なジャンルの芸術文化を楽しむことのできる機会を提供するとともに、積極的な情報発信に努めます。 また、市民の主体的な芸術文化活動の促進と活動の裾野の拡大を図るため、団体の育成・支援を行うとともに、団体間の相互交流を推進します。さらに、子どもたちの芸術文化に対する興味・関心の高揚や豊かな心の醸成を図るため、芸術文化に親しむ機会を積極的に提供します。					市民活動推進課、社会教育課					
施策の方針に対する達成状況(2018～2021)			次期計画への課題							
<ul style="list-style-type: none"> ■ イベント等の実施により、市民が良質な作品に触れ、芸術文化に親しむ機会を提供できた。 ■ 全国公募展である「きりしま美術大賞展」の実施や国内で最も歴史のある「霧島国際音楽祭」の支援により、芸術文化のまちとして広く情報発信することができた。 ■ 芸術文化団体の運営支援を行うことで、活動の活性化や運営の安定化が図られた。 ■ 市内小・中学生に対し、児童生徒芸術鑑賞事業を実施し、計画的な芸術鑑賞機会を提供することができた。 ■ コロナ禍により、中止となった芸術文化事業も多数あったが、感染防止に努め、可能な範囲で芸術文化活動の推進を図ることができた。 			<ul style="list-style-type: none"> ■ 芸術文化団体の高齢化等により会員減少が顕著に表れていることから、芸術文化に対する関心層の拡大や人材育成を行う。 ■ 芸術文化団体の自主的、自発的な活動の支援が必要である。 ■ 現代社会の実情やニーズに合わせた芸術文化振興策を検討する必要がある。 ■ 芸術文化団体の相互交流や意見交換を促し、芸術文化振興によるまちづくりを進める。 							
成果指標 (意図の達成度を表す指標)		◎目標達成(100%以上) △目標を未達成(100%未満)								
		単位	目標達成の方向性	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	達成率 結果
A	芸術文化に親しんでいる市民の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	53.6	53.8	54.0	54.2	54.3	91.0%
				実績値	-	-	-	-	49.6	△
B	芸術文化に触れ親しむ環境が整っていると感じる市民の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	30.6	30.8	31.0	31.2	31.4	105.0%
				実績値	-	-	-	-	32.9	◎
C	芸術文化事業の実践者及び鑑賞者の人数	人	更なる増加を目指します	目標値	106,000	109,000	112,000	115,000	118,000	43.0%
				実績値	94,565	88,267	42,399	49,692	-	△
D	芸術文化団体に所属している人数	人	更なる増加を目指します	目標値	3,200	3,300	3,400	3,500	3,600	67.0%
				実績値	2,457	2,423	2,540	2,349	-	△
E	霧島市民会館来館者数	人	更なる増加を目指します	目標値	66,500.0	67,800.0	69,100.0	70,500.0	71,900.0	47.0%
				実績値	61,300.0	53,690.0	21,898.0	32,876.0	-	△
基本事業	4年間の取組内容			4年間の取組成果			次期計画への課題			
①芸術文化に触れ親しむ機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもたちの芸術文化に対する興味や関心を高めるため、小・中学生を対象とした児童生徒芸術祭を開催した。 ■ 全国公募展である「きりしま美術大賞展」の実施や国内で最も歴史のある「霧島国際音楽祭」を支援した。 ■ 市民会館のあり方について、庁内検討委員会で協議を進めた。 			<ul style="list-style-type: none"> ■ 市主催事業をはじめ、国、県の事業を活用し、小・中学生が芸術文化に触れる機会を計画的に提供することができた。 ■ 美術大賞展や国際音楽祭の支援により、芸術文化のまちとして広く情報発信することができた。 ■ 今後の維持管理における基本的方向性がまとまった。 			<ul style="list-style-type: none"> ■ 芸術文化に関わる市民の関心層の拡大や人材育成を行う。 ■ 現代社会の実情やニーズに合わせた芸術文化振興策を検討する必要がある。 ■ 市民会館の改修を計画的に進める。 			
②芸術文化活動を実践する市民及び団体への支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ 芸術文化に取り組む団体等の運営を支援するため、補助金等を交付した。 ■ 芸術文化活動に取り組む団体やグループ等の把握と団体相互の交流促進を図った。 ■ 市内小・中学生に対し、児童生徒芸術鑑賞事業を実施した。 			<ul style="list-style-type: none"> ■ 補助金等の交付により、活動の活性化と運営の安定化が図られた。 ■ コロナ禍により団体相互の交流事業等は実施できなかった。 ■ 児童生徒に対し、計画的に芸術鑑賞機会を提供できた。 			<ul style="list-style-type: none"> ■ 芸術文化団体への支援を継続し、自立、自発的な活動を推進する。 ■ 芸術文化団体の相互交流や意見交換を促し、芸術文化振興によるまちづくりを進める。 			